

令和6年(2024年)9月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年9月 数量 (トン)	2023年9月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人 参	北海道産中心の入荷でした。数量は増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	620	143	111%	55%
2		キ ャ ベ ツ	群馬(嬬恋)県産中心の入荷でした。他产地の生育が悪く全体的に数量はやや減りました。平均単価はやや高く推移しました。	737	96	92%	104%
3		ト マ ト	北海道、東北、近在中心の入荷でした。数量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	435	599	106%	109%
4		な す	悪天候が続き、数量はかなり減少し、単価はやや高く推移しました。	96	404	79%	105%
5		た ま ね ぎ	天候や輸送の関係により、数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	495	118	84%	110%
6		ぶ ど う	シャインマスカットの栽培面積が増える中、黒系ぶどうの栽培面積が減少し、かつ猛暑の影響で着色不良もあり数量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	127	1,329	80%	96%
7		り ん ご	数量は、かなり減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	105	330	64%	93%
8		な し	豊水は昨年の作柄が良かったため前年より入荷があったが、晩生種が厳しい残暑による日焼けや落下的多発なので数量は減少しました。平均単価は平年並みに推移しました。	315	396	89%	99%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+/-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+/-)3~10%
- ③増加(減少):(+/-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+/-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+/-)51%以上